

5 R5学校評価に係る教職員アンケートについて（対象69人 回収率100%）

（1）項目10「効率的、効果的な指導体制が組まれるとともに、生徒と向き合う時間や授業準備及び学級事務などの時間が確保されている。」では、全体の約43%（昨年70%）がCまたはDと回答している。生徒が在校中の空き時間の少なさや職員の持ち時数に不均衡があるなどが考えられる。状況としては昨年から大幅に改善が見られているが、それでもまだ多くの職員が確保されていないと感じている。次年度より水曜日の日課を短縮することで、改善を見込みたい。

（2）項目14「教室や特別教室の数は、十分確保され、教室の広さは適切である。」では、約83%（昨年96%）の職員がCまたはDと回答した。この結果を踏まえ、今後も教育委員会に要望を行う。また、子どもたちが安心して学べるよう、引き続きグループ編成の工夫や教育課程の改善に努める。

（3）項目21「地域の人々や白陵高校生と触れあう交流学习や共同学習が、工夫しながら行われている。」では、教職員の約43%（昨年78%）がCまたはDと回答した。地域向け参観日を実施したことで、白陵高校の教職員にも参観して頂いた。今後も教務部・生徒支援部・総務部がそれぞれの観点で企画し、生徒同士・職員同士の関係性の構築を図る。また、計画的な動きと併せて年度途中からでも企画できるように、職員間の情報共有を行う。地域交流はコミュニティスクールが始まったことで、地域との協働や交流がより活発に行われており、さらなる授業の活性化へとつなげていく。

（4）項目23「会議の効率化や業務の能率化を図り、勤務時間を意識して業務に取り組んでいる。」では、全体の約67%（昨年65%）がAまたはBと回答している。一方で29%（昨年34%）がCまたはDと回答している。過半数は働き方改革の趣旨を理解し、自らの業務方法の工夫などを行っていると考えられるが、その一方で業務の偏りがあったり、時期的に業務が錯綜するなど様々な理由により勤務時間を意識した取り組みができないものと考えられる。次年度に向けて会議や打合せの精選を行うことと併せ、ICTを活用したより効率的な会議運営を目指す。